



2024 年 2 月 20 日

山下賞 2023 について

当社では、組織力の向上と設計品質を高めることを目的として、社内表彰制度「山下賞」の活動を行っております。

本年度は、「当社の創立 100 周年、さらにその先の未来への方向性を示す建築作品・技術を、社員全員で考え、議論し、「つくるべき価値」を共有すること」をテーマに議論を行い、山下賞（作品）3 点、入選 3 点を選定いたしました。

山下賞（作品・技術）

東京都アクアティクスセンター

富山霊園富山市斎場

長崎市庁舎

以上 3 作品

入選

名古屋大学 E I 創発工学館

食品会社本社ビル

みやぎ東日本大震災津波伝承館

以上 3 作品

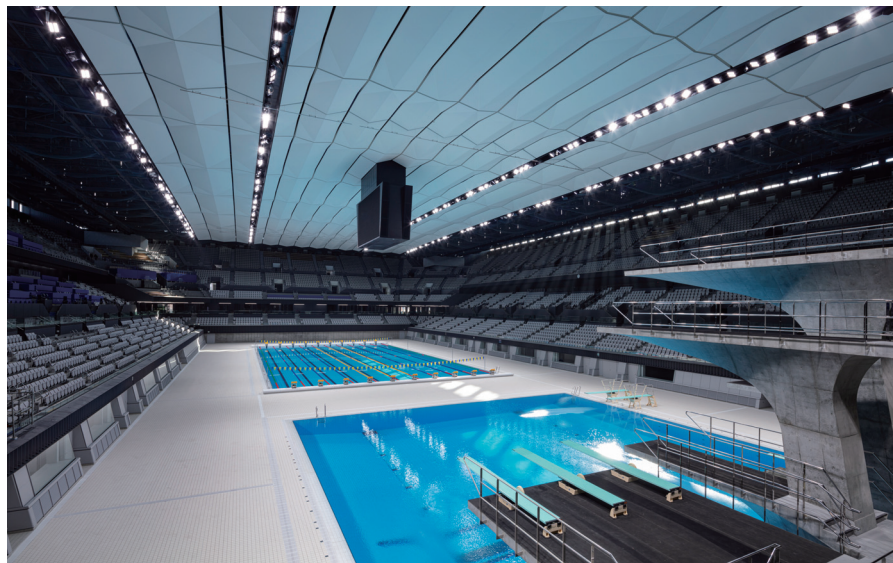
山下賞

山下賞 2023 受賞作品

東京アクアティクスセンター



南東外観（東京 2020 大会時）：辰巳の森海浜公園側に大階段広場＋観客用のメインエントランスを配置



競技会場メインアリーナ（東京 2020 大会時）：手前がダイビングプール、奥がメインプール

所在地： 東京都江東区辰巳 2-2-1
用 途： 屋内運動施設
建築主： 東京都
設計者： 東京都財務局建築保全部
オリンピック・パラリンピック
施設整備課
山下設計（基本設計・DB 発注資
料作成等業務・DB アドバイザ
リー・工事監理）
大林・東光・エルゴ・東熱異業種
特定建設共同体
昭和設計（実施設計）
構 造： S 一部 SRC・RC 造（屋根免震）
規 模： 延べ面積 【新築時】 64,404㎡
【改修後】 50,692㎡
地下 1 階 地上 4 階
写真提供： 東京都

東京 2020 大会から大会後へ、後世にわたって誰もが楽しめる世界最高水準の水泳場

2021 年に東京で開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピック（以下、東京 2020 大会）における水泳競技会場である。東京 2020 大会後は、国際大会や国内大会の開催、次世代アスリートの強化・育成の場を提供する世界最高水準の水泳場であるとともに、誰もがスポーツや健康増進に取り組む場所の提供、周辺の辰巳の森海浜公園などの屋内外運動施設との連携した賑わい創出などを実現している。

東京 2020 大会時の観客席 15,000 席から、大会後の 5,000 席への規模改修という特殊条件に対して、7000t の大屋根を 4 本の柱でリフトアップすることで、観客と選手の距離が近く同じ空間・経験を共有できる水泳場を計画した。観客席の規模が大幅に異なる 2 つの段階で、”世界記録を後押しする「競技環境」と、トップクラスの国際・国内大会の会場としての「観覧環境」を両立している。加えて、東京 2020 大会後の多様な施設運営を可能とするため、様々なグレードの大会開催と一般利用を両立できる空間構成としている。

山下賞

山下賞 2023 受賞作品

富山霊園富山市斎場



立山連峰に囲まれ、常願寺川沿いに広がる田園風景の中に建つ 屋根形状を生かした一体感のある、裏のない外観デザイン



立山連峰を望む遠景と敷地内のランドスケープ近景を一体で構成



エントランスの立山ウォール（白く高い凹凸壁）が会葬者を出迎える

雄大な風景と建築・ランドスケープを一体化し、地域の風景と共に故人をしのぶ場

富山市にある火葬炉 12 基を備えた大型斎場である。計画地は、川沿いの田園の中であり、雄大な立山連峰を望む場所にある。故人や地域の方々が慣れ親しんだ、富山らしい自然の風景に寄り添う、地域に根差した斎場としている。川に向かって立山連峰を望む遠景と敷地内のランドスケープ近景を一体で構成し建物に風景を取り込むことで、その風景と共に故人をしのぶ場所を創出している。この構成を生むために、敷地入口に対して建物の背面を向ける特徴的な配置計画とし、大屋根形状を生かした一体感のある、裏のない外観デザインを実現している。また、超高齢社会における斎場の在り方をクライアントと模索し、利用者の移動が少なくわかりやすい施設であること、大規模斎場の運用管理もしやすい合理的な機能配置が追求されている。

所在地： 富山県富山市西番

用途： 斎場

建築主： あおぎの

設計者： 山下設計

構造： RC・S造一部 SRC 造

規模： 延べ面積 3,488.m² 地上 2 階

写真提供： AO スタジオ

山下賞

山下賞 2023 受賞作品

長崎市庁舎



南東側外観 「人」が集まる"CITY HALL"―「まち」を繋ぎ、世界都市「NAGASAKI」を発信する



南側外観 RCフレームとCLT耐震パネルの外殻構造



基準階内観 RCフレームとCLT耐震パネルが内外から見える

地域の賑わいと地球環境に貢献する、CLT パネルを活用した環境配慮型高層市庁舎

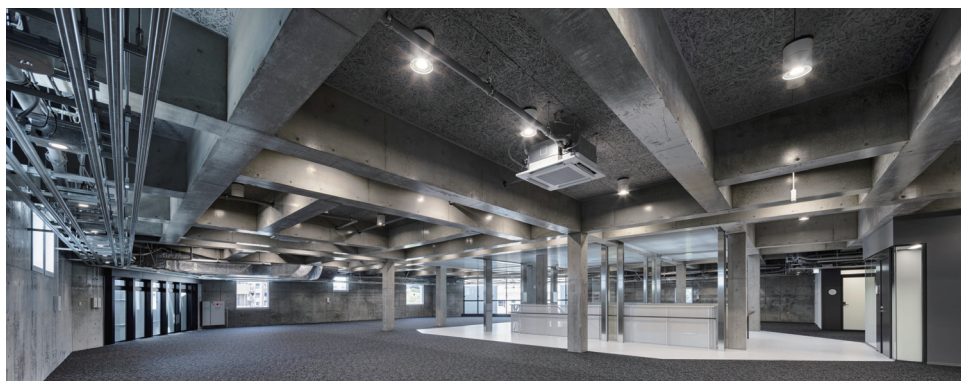
長崎市の中心地区に建つ 19 階建の市庁舎である。計画地は、戦後復興のシンボルであった旧公会堂跡地で、長崎市の古くからの賑わいと文化の中心地区に位置する。日常的に市民が訪れる市庁舎が、この地域と一体的に賑わいを創出することで、市全体へと相乗効果を生み出すことを意図した。そのために、屋内外につながるある広場空間や、広場に面して低層階に集約した窓口の待合スペース、テラスを持つ多目的スペース・食堂、長崎の大景観を一望できる屋上庭園を整備した。市庁舎への用事の前後、あるいは用事がなくても、誰もが自由に過ごし、気ままに立ち寄れる市民の場所を生み出している。

建物は、高さ約 90m の超高層庁舎という建築特性を踏まえて、免震構造の効果を高める RC 格子フレームと CLT 耐震パネルによる「外殻構造」で構成されている。これらの要素は、環境性能向上にも寄与している。RC 格子フレームは日射遮蔽効果やライトシェルフ効果を持ち、CLT パネルは断熱性能を向上に貢献している。外皮構成を基本に天井放射空調などの設備システムを組み合わせ、ZEB Ready の認証を受けている。

所在地： 長崎県長崎市魚の町 41
用途： 庁舎
建築主： 長崎市
設計者： 山下設計・建友社設計・
有馬建築設計事務所
構造： 特定設計業務共同企業体
S・RC造一部SRC造
(CLT耐震パネル、免震構造)
規模： 延べ面積 51,752㎡
地上 19階地下 1階塔屋 1階
写真提供： エスエス

入選

食品会社本社ビル



所在地： 神奈川県横浜市
港北区大豆戸町
用途： オフィス

建築主： 非公開
設計者： 山下設計
構造： RC 造

規模： 延べ面積 2987.56㎡
地上 4 階
写真提供：川澄・小林研二写真事務所

身体感覚を刺激する、ゆらぎのあるワークプレイス

住宅街に建つ、食品メーカーの本社ビルである。多様で心地よい”ゆらぎ”のある環境を構築することで、働く人の身体感覚を刺激し、知的生産性の向上を目指した。自然の光や風の変化を感じる「吹き抜け+トップライト」を中心に、「不規則な構造フレーム」や「八角形の平面形状」により、従来の均質なオフィス空間では得られない、“ゆらぎ”のある多様な場所を生み出している。

みやき東日本大震災津波伝承館



所在地：宮城県石巻市南浜町
用途：博物館
建築主：国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所

設計者：山下設計・ドーコン・栗生明+北川・上田総
合計画設計共同企業体
構造：S 造

規模： 1,334.73㎡
地上 1 階
写真提供：川澄・小林研二写真事務所

震災の記憶と教訓を次世代につなぐ風景の創出

東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂、震災伝承、復興の象徴となる石巻南浜津波復興祈念公園内の国営追悼・祈念施設の中核である。「まちと震災の記録を伝え、生命（いのち）のいとなみの杜をつくり、人の絆（きずな）つむぐ」という公園の理念にもとづき、震災遺構を体感できる風景と場所を生み出している。

震災復興のシンボルである杜づくりにより、植樹された木々が将来大きく育ち、建物のまわりを覆うことで、建築が杜の中に溶け込むことを意図している。長い年月を経て変化していく公園のランドスケープに建築が寄り添い、一つの風景となる場所を目指した。

名古屋大学 EI 創発工学館



所在地：愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学東山団地構内
用途：大学

建築主：なごや東山アカデミックサービス (PFI 事業)
設計者：山下設計・鴻池組 JV

構造：S 造 一部 CFT 造
規模：延べ面積 17,053㎡ 地上 9 階
写真提供：近代建築社

人、キャンパスをつなぐ「マチ」のような多様な学びと交流を生む場

キャンパスの中心に位置する、産学官連携およびイノベーションの創出を目指す教育研究拠点施設である。敷地の高低差を活かし、1,2 階に跨って屋内外を横断する「トオリミチ」に沿って、立体的に多彩なシーンが展開する構成としている。2 階に研究成果の発表舞台となるエントランスロビーやホール、講義室を設け、入居者以外の人々もマチなかを通り抜ける度、偶然の出会いや交流が生まれる場としている。校舎の屋内外に多様な居場所を設けることで、学びの選択肢を増やし、多様性を生み出している。